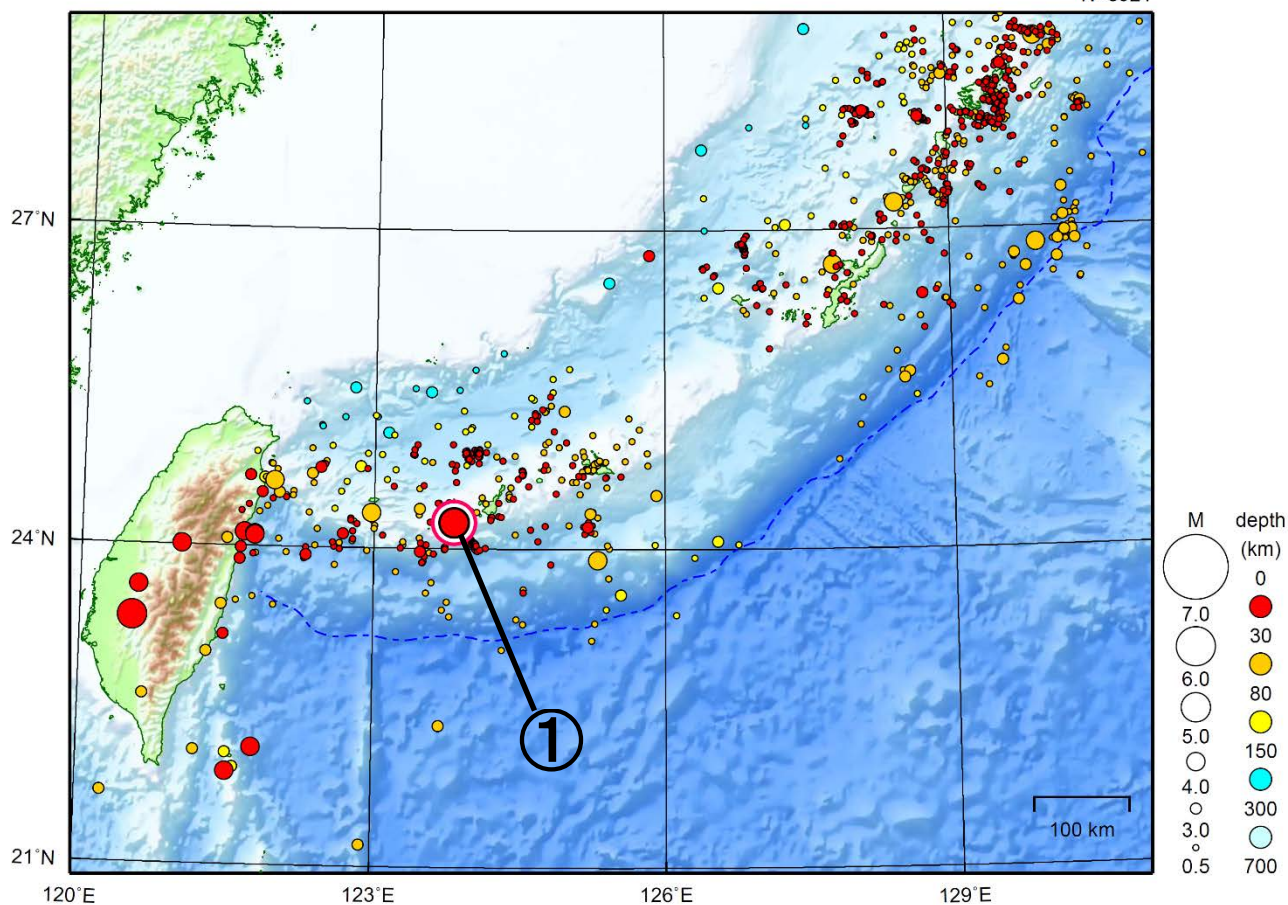


沖縄地方

2018/03/01 00:00 ~ 2018/03/31 24:00

N=3921



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3月1日に西表島付近で M5.6 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

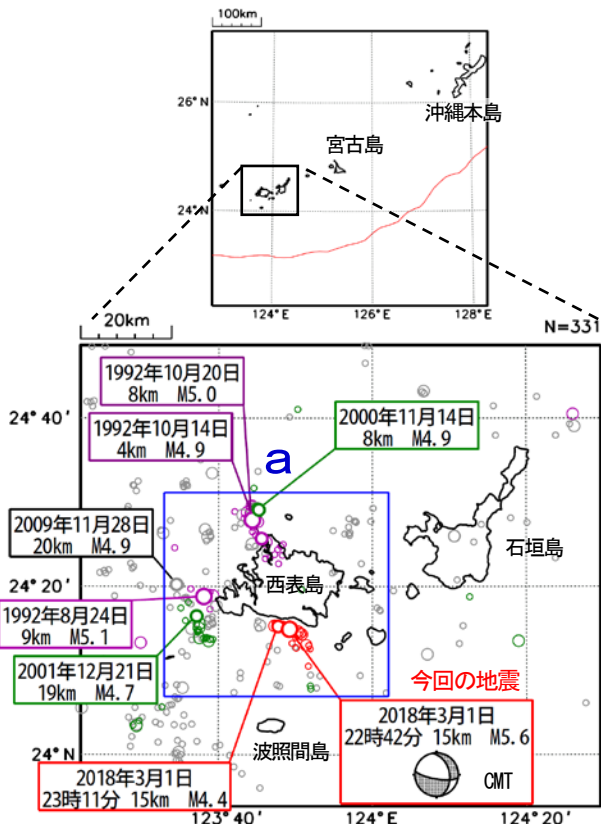
〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

3月1日 西表島付近の地震

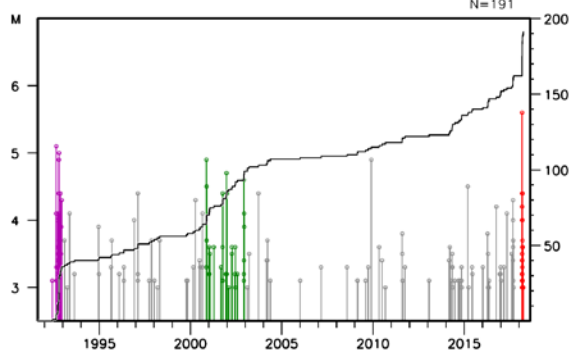
震央分布図

(1992年1月1日～2018年3月31日、
深さ0km～30km、 $M \geq 3.0$)

1992年12月までの地震を紫で、
2000年11月から2003年2月までの地震を緑で
2018年2月28日以降の地震を赤で表示

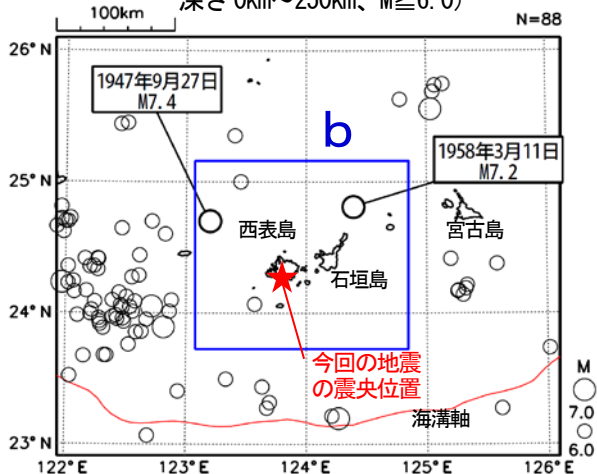


領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

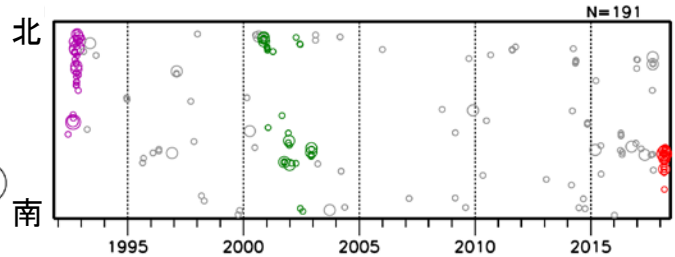
(1923年1月1日～2018年3月31日、
深さ0km～250km、 $M \geq 6.0$)



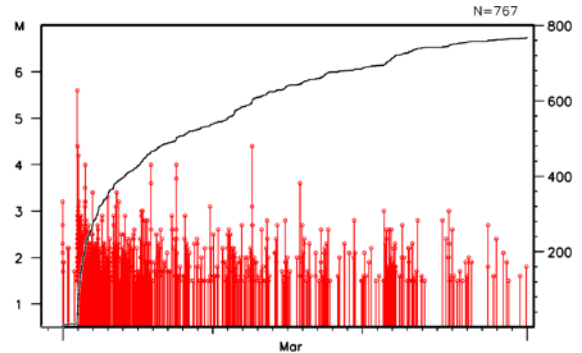
2018年3月1日22時42分に西表島付近の深さ15kmでM5.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、北東-南西方向に張力軸を持つ型であった。この地震の発生後、地震活動が活発な状態で推移しており、3月31日までに震度1以上を観測する地震が、40回(最大震度3:3回、最大震度2:8回、最大震度1:29回)発生している。なお、2月28日23時16分にもほぼ同じ場所でM3.2の地震(最大震度1)が発生している。

1992年1月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺(領域a)では、M5程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。そのうち1992年の活動では、壁の亀裂、石垣の崩落等の被害が発生している(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の時空間分布図(南北投影)

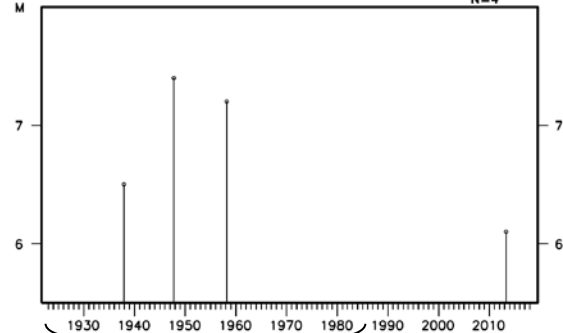


領域a内のM-T図及び回数積算図 (2018年2月28日～3月31日、 $M \geq 1.5$)



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1947年9月27日にM7.4の地震(最大震度5)が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)